



第11回菊池米食味コンクール



第11回菊池米食味コンクール

## 「米どころ菊池」の確立と菊池米の販路拡大を目指して

「菊池米食味コンクール」を11月19日に市ふるさと創生市民広場で開催しました。生産者の飽くなき思いは、菊池米のブランド化につながっています。

問い合わせ先 農政課ブランド推進室 ☎0968(25)7266

1 菊池市米飯官能鑑定士や専門家などによる食味審査 2 今年コンクールで入賞したコメの即売会を開催 3 15人の生産者がバイヤーと販売契約を結んだ 4 食味コンクール受賞者の皆さん 5 菊池川流域(玉名市、山鹿市、菊池市、和水町)の食材を使用した一品料理コンテストも同時開催された 6 出品されたコメ。審査米は同じ条件で炊飯する

**菊池のおいしいコメを世界へ**  
 菊池は江戸時代から米どころとして知られています。菊池米のブランド化に向け、生産者のさらなる意識高揚を促すことを目的に開催しました。今年25.1点が出品。菊池市米飯官能鑑定士やバイヤーなどが予選を通過した検体を食べ比べて審査しました。個人総合部門は田代栄助さん(本村)の「にこまる」、環境王国菊池基準登録部門では西郷農苑(西郷)のヒノヒカリ、集落部門では七城田中区が最優秀賞に選ばれました。  
 毎年、取引条件適合者はその場でバイヤーと契約し、九州や都内の百貨店などで販売され、販路の拡大につながっています。  
 多良木町で行われた第7回九州のお米食味コンクールでは、自治体部門で本市が準優勝に輝きました。

### 個人総合部門 最優秀賞

田代栄助さん

コンクールが始まった当初から出品を続けてきました。今回、最優秀賞を受賞することができてとてもうれしく思います。今後もおいしいお米を作りたいです。

### 環境王国菊池基準登録部門

西郷農苑 増永光俊さん

昨年に引き続き、受賞することができて驚いています。無農薬、無肥料の自然栽培にこだわって米作りを続けてきました。これからも安全・安心のお米をお届けしたいですね。



**【ゾーニング】**  
土地を用途別に区分すること  
**【ゾーン】**  
用途別に区分された個別の地域のこと

**ゾーニング** 宅地、商業、工業を誘導および促進するゾーンを設定しました。  
 ※上記イメージ図参照。ゾーン内が全て開発の対象となるわけではありません

- 宅地** 宅地開発を重点的に推進する地域を宅地誘導ゾーン ▶ 1  
 宅地としての広がりが見込める地域を宅地促進ゾーン ▶ 2~7  
 ※他にも定住化促進につながる地域がある場合は適宜検討
- 商業** 商業施設の進出を誘導する地域を商業誘導ゾーン ▶ 旭志伊坂周辺(国道325号)
- 工業** 工場などの進出を誘導する地域を工業誘導ゾーン ▶ a~f

### 目的

市では農地や宅地、商業や工業など、バランスの取れたまちづくりに向けて、無秩序な開発を抑制するためにゾーニングを行いました。  
 宅地や商業、工業を誘導および促進するゾーンを設定することで、農地や地域とのバランスを保ちながら開発を促進し、定住化につなげていきたいと思えます。特に旭志地域は過疎地域に指定されているため、宅地開発を重点的に誘導していきます。

### 今後の流れ

ゾーニングを行った地域は、民有地に対して民間事業者が開発を行うことを想定しています。民間活力と市による支援で、スピード感を持った事業実施を目指します。

# 宅地・商業・工業のゾーニング 地域開発促進事業がスタート

台湾半導体大手(TSMC)が菊陽町に進出して、住宅や工場などの建設が相次ぎ、大きな変化が起っています。市では、バランスの取れたまちづくりに向けて、地域開発を促進していきます。

問い合わせ先 地域開発推進室 ☎0968(41)8171

今後は、ゾーニングイメージ図の赤・青色で囲んだゾーンの中から、宅地として開発の可能性がある地域を選定し、市職員が地権者の皆さんに説明に伺います。市の説明後、地権者の皆さんに同意の有無を確認し、同意がまとまった地域は、宅地開発に向けた候補地に選定します。その後、地権者の皆さんが、開発事業者を募集したり、協定や契約などを締結したりする際の手続きは、市もお手伝いします。  
 商業と工業は、民間事業者からの相談に応じ、支援を検討していきます。  
 なお、丸で囲んだゾーン内が全て開発の対象となるわけではありません。  
 今後、市職員が地権者のご自宅を訪問したり、説明会を開催したりする予定です。ご協力をお願いします。

